

重量物のジャッキアップシステム

タービンケース上半や橋桁など重量物を平行にジャッキアップするのに莫大な費用を払っていませんか？

ジャッキアップする重量、ジャッキの受圧面積、ジャッキのご使用本数、ご希望のジャッキ上昇速度、ご使用のポンプ吐出量 等のデータがあれば直ちに最適なジャッキアップ用定流量弁を安価で設計、製作いたします。
もし詳細が不明な場合でもご相談頂ければ最適なジャッキアップ方法を安価でご推奨いたします。

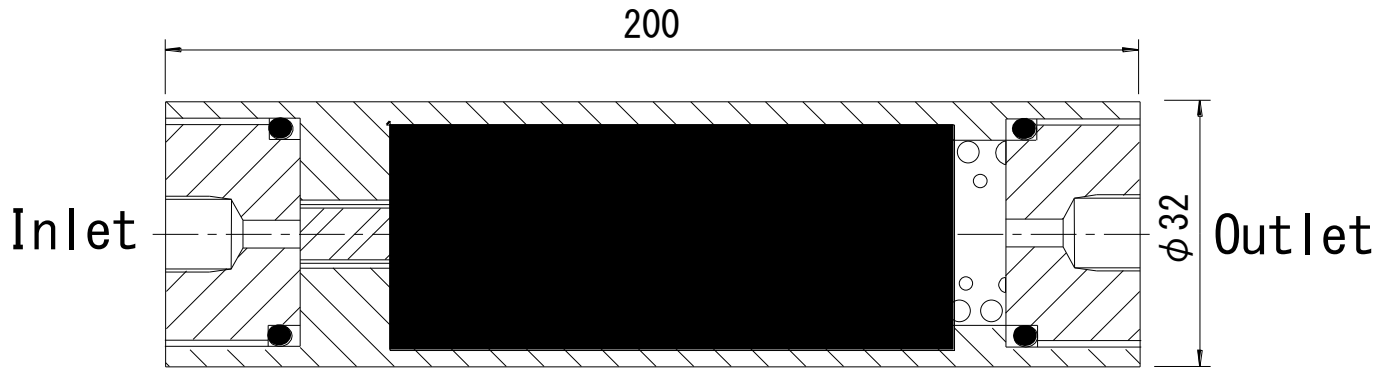
現在用いられている殆どの場合は、各ジャッキの平行上昇をエンコーダ等の電子機器にて監視、位置制御フィードバック方式を採用しています。これには高価な大型ポンプ（大容量吐出ポンプ）や複数のポンプに制御装置が連動した非常に高価な装置を必要としています。

弊社が提供しようとしているのは出来るだけ安価な少容量ポンプ 1 台でその吐出口に弊社が開発したある圧力範囲内で流量が一定になる自己制御機能（電源不要）を持った弁をジャッキの使用本数に分岐し、そこからジャッキに供給するだけで平行ジャッキアップを可能にするというものです。

この弁はご使用流体の粘度と比重によりスプリング力と自ら中心にあるセンサーがその流抵抗度合により自己位置制御し調圧、調流量を監視し希望の一定流量をジャッキに供給する構造です。

複雑な抵抗体やスプリングを組み合わせた弁も流体（液体及び気体）の性質には拘らない設計製作できますが高価となるため、ここにご紹介するのは安価な定流量弁でジャッキの平行上昇を担保する為の弁です。

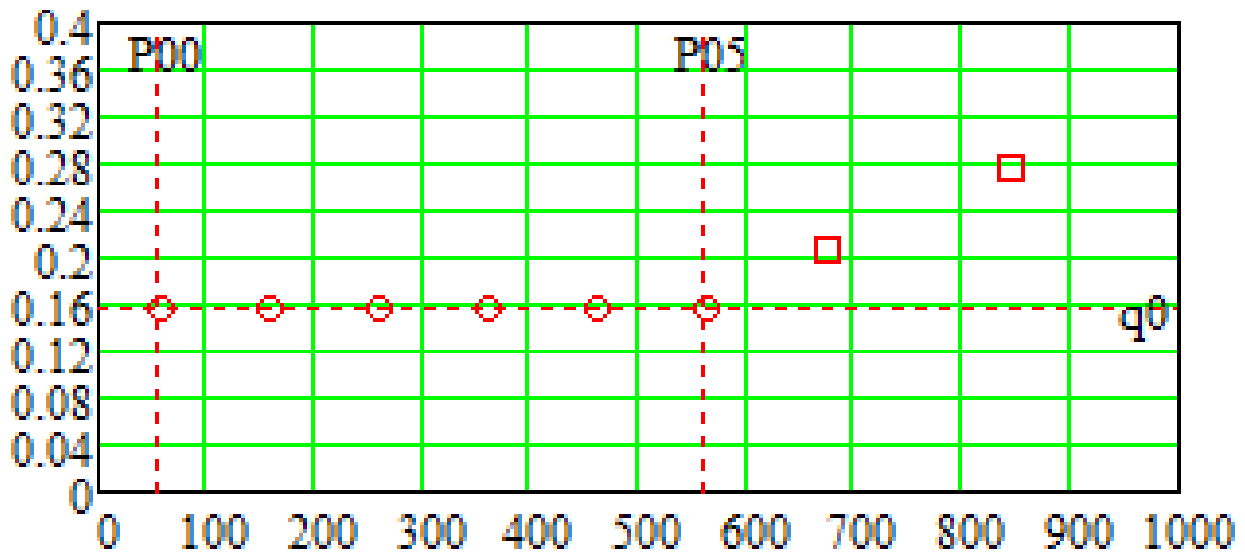
下記がその一例の断面図です。



ジャッキ理研 3S 受圧面積 44.17 c m² の場合での荷重及び上昇速度

1本流量	4本流量	低圧ポンプ圧力	低圧時4本荷重	高圧圧ポンプ圧力	高圧時4本荷重	負荷上昇速度
L/min	L/min	Kgf/cm ²	ton (x1000Kg)	Kgf/cm ²	ton (x1000Kg)	mm/sec
0.158	0.632	58	10	563	99	0.6

この例のジャッキ弁は圧力 58Kgf/cm²～563Kgf/cm² の範囲で一定流量 0.158L/min 吐出します。 万一のポンプの人的誤動作の場合でもより安全です。



制御流量や制御範囲圧力はユーザー殿の選択となります。